

Press Release

2018年2月28日

2017年度版サステナビリティレポートを発行

ヘンケル、2017年のサステナビリティの堅調な結果に自信

- サステナビリティ・パフォーマンスが再び向上
- 5万人以上の社員がサステナビリティ大使に
- 海洋プラスチックをなくすためのパートナーシップを開始
- 国際的なインデックスおよび格付けで業界をリード

ヘンケルの人事部門担当取締役副社長でサステナビリティ評議会会長のカトリーン・メンゲスは「2017年、当社のサステナビリティ戦略の実行と目標の達成について、明確な成果を残すことができました。多くの国際的な格付け機関が当社の成果を非常に高く評価し、当社はサステナビリティの分野で世界をリードする企業として認められました」と述べています。

サステナブルな価値の創造

ヘンケルはお客様、社員、株主、そして社会のため、サステナブルな価値の創造を目指しています。また同時に、2030年までに効率を3倍に高めることを計画しています。2017年度は、2020年の中期目標(基準年2010年と比較)の達成に向け、再び明確な前進を遂げました。

- 生産量1トン当たりのエネルギー消費量とCO2排出量を24%削減
- 生産量1トン当たりの廃棄物量を32%削減
- 生産量1トン当たりの水消費量を24%削減
- 100万労働時間当たりの安全性を17%改善
- 生産量1トン当たりの売上高を5%増加
- 全体としては、創出する価値と環境フットプリントの関係を、基準年2010年と比較し、43%改善させることができました。2020年までには、資源の利用効率を75%向上させる計画です。

パリ協定と、世界の気温上昇を2度未満に抑えるという国際社会の合意をふまえ、ヘンケルは気候保護に積極的に貢献することを宣言しています。これを成し遂げるため、当社は2030年までに全生産の二酸化炭素排出量を75%削減することに焦点を当てています。また2030年までに、生産に使用する電力を、再生可能資源から100%調達できるよう努力しています。2020年までに

50%を達成するのが、ゴールに向けた中間目標です。ヘンケルはクライメート・ポジティブ(環境に前向き)な企業になるべく、長期ビジョンに従って行動します。

サステナビリティ大使として5万人以上の社員が研修

カトリーン・メンゲスは、「2017年に私たちが前進できたのは、社員たちの素晴らしい貢献のおかげです。2012年以降、私たちは5万人以上の社員にサステナビリティ大使としての研修を実施してきました。このプログラムは現在、ヘンケル最大の継続教育の取り組みの1つです。私たちが目指すのは社員にサステナビリティの考え方を伝えるだけではありません。同僚やサプライヤー、お客様、さらには学校の子供たちとその考え方を共有し、社会に貢献することを、社員に奨励したいのです。これは社員一人ひとりの日常的な活動において、サステナビリティというテーマがさらに大きな役割を果たすための重要なステップです」と述べています。

サステナビリティを広げるためのパートナーシップ

ヘンケルは社員に加え、バリューチェーンのパートナーにもサステナビリティの考え方を広めています。例えば当社は、海洋プラスチックをなくすこと、そして貧困層に機会を与えることを目的とする社会的企業であるプラスチックバンクとともに活動しています。ハイチにあるようなプラスチック収集センターでは、地域のコミュニティにプラスチック廃棄物を収集してもらい、金銭や品物と引き換える、もしくは社会奉仕とする機会を提供しています。このプラスチックは加工され、循環経済を支えるため、リサイクル素材として再利用されます。

インデックスや格付けが裏付ける業界のリーダー的ポジション

サステナブルに即したヘンケルの経営方針と取り組みは、独立したサステナビリティ専門家、格付け機関、そして資本市場に好印象を与えてきました。ヘンケルはダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インデックスの「家庭および個人向け製品」分野で、ワールドとヨーロッパの両方で、業界のグループリーダーとしてリストアップされました。ヘンケルは下記のサステナビリティ・インデックスでも評価されています。

- ECPI インデックス
- Ethibel サステナビリティ・インデックス
- Euronext Vigeo Eiris サステナビリティ・インデックス
- FTSE4Good エシカルインデックス(17年連続)
- Global Challenges インデックス
- MSCI ESG Leaders and SRI インデックス
- STOXX Global ESG Leaders インデックス

イーコム・リサーチ社と Sustainalytics 社の格付けでは、ヘンケルは業界をリードする企業として認められました。

ヘンケルのサステナビリティに関する詳細情報は、<https://www.henkel.co.jp/sustainability> でご覧いただけます。

(本プレスリリースは、2018年2月22日にドイツ・ヘンケル本社が発表したプレスリリースの翻訳版です)

ヘンケルについて

ヘンケルはブランドとテクノロジーのグローバルリーダーとして、ランドリー & ホームケア、ビューティーケア、アドヒーズテクノロジー（接着技術）の 3 つの分野で事業展開をしています。ヘンケルは 1876 年の創立以来、コンシューマービジネスおよび産業分野において、Persil（パーシル）、Schwarzkopf（シュワルツコフ）、Loctite（ロックタイト）などに代表される有名なブランドの数々と共に、グローバルにおけるマーケットリーダーとしての地位を維持しています。ヘンケルの従業員数は 53,000 人超であり、2017 年の売上高は 200 億ユーロ、調整後の営業利益はおよそ 35 億ユーロを計上しました。ヘンケルの優先株はドイツ株式指数 DAX のリストに入っております。

ヘンケルジャパンホームページ: <http://www.henkel.co.jp>

ヘンケルジャパンフェイスブックページ: <http://www.facebook.com/HenkelJapan>

コンタクト

Rabea Laakmann

Phone +49 211 797-6976

Email rabea.laakmann@henkel.com

Hanna Philipps

+49 211 797-3626

hanna.philipps@henkel.com

— 本件に関するお問合せ先 —

ヘンケルジャパン株式会社 広報室 小野尾 秀美

TEL: 070-1548-4840 e-mail: hidemi.onoo@henkel.com